

お～の、
みんなで
しあわせ



大野地区社会福祉協議会について

大野地区社会福祉協議会は、超高齢化社会を見据えて、区長会、民生委員児童委員協議会、福祉委員会、まちづくり推進協議会、長生会、スポーツ協会、子ども会育成会連絡協議会、小中学校、福祉施設連絡協議会、赤十字奉仕団、母子寡婦福祉会、婦人福祉協議会、保健推進員協議会の13団体によって平成13年に発足しました。

各種団体や機関が連携して、住民への声掛け運動や助け合い活動を行い、安心して暮らすまちづくりを推進することを目的とし、4つの事業(①地域における福祉問題の把握と支援および相談活動、②福祉に関する関係機関や団体との連絡調整、③福祉に関する住民の意識の高揚とボランティア活動の推進、④その他、本会の目的達成に必要な事業)をそれぞれに行なっています。

平成13年に
大野地区社会福祉協議会が
発足しました



ごあいさつ



大野地区社会福祉協議会 会長
清水 武正

大野地区社会福祉協議会設立20周年記念と、これを節目として広報紙を発刊しました。ご協力をいただきました各団体代表者の皆さまに深く感謝申し上げます。

こうしたことを機に、それぞれの団体の事業活動を今一度共に理解し合いながら更に繋がり続けてほしいと思います。そして、先輩たちから受け継いだ伝統の行事はこれからも継続させていきましょう。

また、20周年を節目に、大野地区の未来を考えると、福祉の活動は、これからも変わることのない「人への寄り添いが原点」であり、結の心でつながる大野地区は、めいりんの心に裏打ちされた「大野人」たちの集まりであることを再認識し合うことを推奨します。

各部会の役割や活動

大野地区社会福祉協議会は5つの部会で構成し、活動を行っています。

総務部会

役割 総会や研修会の開催

活動 他の地区の社会福祉協議会や民生委員の方々との意見交換会等を開催しています。令和5年度は、コミュニティナースとして活動中の加藤瑞穂さんをお招きして研修会とカフェを開催しました。



荒島旅舎でのコミュニティナースカフェ

高齢者部会 保健増進部会

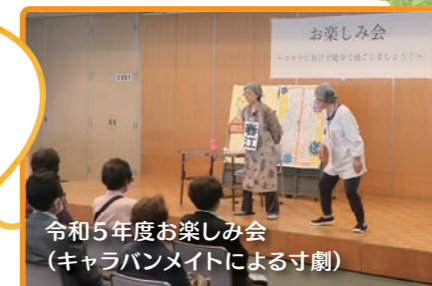
役割 高齢者部会と保健増進部会が連携し、ひとり暮らし高齢者を対象にしたお楽しみ会の開催

活動 ひとり暮らし高齢者お楽しみ会は、中部地区民生委員児童委員協議会の協力を得て開催しています。アトラクションなどを行い、楽しい時間になっています。



令和4年度お楽しみ会
(ユキノシタによるコーラス)

生活に役立つ情報を
笑いを交えた寸劇で
学びました!



令和5年度お楽しみ会
(キャラバンメイトによる寸劇)

児童福祉部会

役割 大野地区子ども会育成会連絡協議会等の活動への協力

活動 大野地区子ども会育成会連絡協議会が開催する「めいりん塾」などの活動に協力しています。令和5年度は、ベビーヨガや子育て座談会を開催し、子どもたちが健やかに成長できる地域づくりに協力しています。



令和5年度ベビーヨガ教室

障害者部会

役割 ボランティア研修の開催や障がい者に対する理解促進のための啓発活動

活動 大野市身体障害者肢体協会と合同で研修会を開催し、車椅子の介添えなどを行います。また、啓発活動も行っています。



令和5年度合同研修会

大野地区区長会

大野地区74地区の区長により構成されており、区長事務や区長が執るべき事務に関する連絡調整、市政の発展に関する調査、研修、地区の皆さんの意思の市政や議会への反映など、地区の発展と地域生活の向上を目指し、各種事業に取り組んでいます。市長と語る会や市議会議員との懇談会では、地域の皆さまの思いや要望を市長や議会へ伝える活動を行っています。研修活動では、地域自治の先進地の視察研修などにより、自治活動や地域振興などの特徴的な取り組みについて学びを深め、地域自治の意識醸成と区長としての資質向上に努めています。

コロナ以前の取り組みを復活させようと頑張っています！

会長 米村博之さん



先進地視察研修



市長と語る会



市議会大野会との懇談会

区長就任時の高齢化やなり手不足から、約6割の区長が2年で交代するという現状もあります

大野地区まちづくり推進協議会

大野地区内に居住する全世帯を会員として構成しております。美しく、明るく、住みよい地域づくりをめざし、住民主体のまちづくり運動を推進しています。

総務部、環境部、啓発部の3つの部会で構成しており、各種事業を積極的に実施しています。昭和48年に設立され、令和5年に設立50周年の節目を迎えました。これからも世代を超えて多くの方々へ参画していただき、住みたい、住み続けたい大野地区を目指してまちづくり運動を進めていきます。

地域の皆様と共に歩まれた20年の歴史を築いてくれた先人達に感謝し、今後益々活躍されますことを祈念しております。

会長 萩原 勢子さん



設立50周年記念式典



設立50周年記念事業（まちの模型制作）



亀山の花壇の美化活動

美化活動や視察研修などのまちづくり活動を継続して50周年を迎えました！

中部地区民生委員児童委員協議会

な（なかよく）や（やさしく）む（むりせず）な（なかだち）を合言葉にして、何でも話し合え、協力しあえる民生児童委員（32人）・主任児童委員（2人）の34人が活動しています。役員会を中心として、総務部、高齢者福祉部、ボランティア部、児童福祉部の4つの部会にわかれ、介護や児童福祉、地区内の安全点検などを行っています。

通年活動として、一人暮らしの高齢者の見守りや、地区の見回り、児童の見守り、配食サービス活動（月に1~2回）、あいさつ運動などを積極的に行っています。

地域住民との関係づくりに努めています！

会長 杉原真一さん



倍生児童苑で花植え

倍生児童苑や地域子育て支援センターの事業支援なども行なっています。



夏休み思い出映画会

「リフレッシュのつどい」共同募金助成金事業

大野長生会

令和5年度で第65回目の総会を迎えた大野長生会は、全国老人クラブ連合会の掲げるメインテーマ：「のぼそう！健康寿命、担おう！地域づくり」を目標に掲げ、全国三大運動：「健康・友愛・奉仕」を活動のコンセプトに、老人福祉法に守られながら事業活動に取り組んでいます。

現在は、ウイズコロナをテーマに総務部、旅行部、体育部、女性部が活動しており、自主クラブ活動としてウォーキングクラブ、公式ワナゲクラブも活発に活動しています。また、老人家庭相談員も友愛活動として、80歳以上一人暮らしの仲間を訪問し、寄り添い活動に動んでいます。

会員の多くが昭和時代前半です。2025年という時代の課題解決の方法の一つに長生会への入会を推奨し、啓蒙活動に力を入れたいと思います。

会長 清水 武正さん



世代間交流事業



公式ワナゲ大会



ウォーキング大会

現代は豊かさや便利さが当たり前になっていますが、「超高齢社会」の今だからこそ高齢者の力を発揮できる時！

大野地区福祉委員会

身近な地域における住民の生活・福祉課題や困りごとを見守り活動や声かけなどを通して、早期発見する地域のアンテナ役です。また、区長さんや民生委員さん、社協などの関係団体と協力しながら、生活の困りごとの解決に向けて一緒に取り組む地域のボランティアです。

主な活動として、①二人暮らしの世帯調査 ②月に一度の配食サービス ③友愛訪問 ④二人暮らしのお楽しみ会などに取り組んでいます。身近なご近所で、少し話を聞いてもらえる・相談できる福祉委員になれるように心がけています。

住み慣れた地域で、楽しく暮らせるように「支え合える」関係を目指します！

会長 笹嶋浩子さん



令和5年度二人暮らし高齢者お楽しみ会



令和元年度二人暮らし高齢者お楽しみ会



令和元年度二人暮らし高齢者お楽しみ会

行政区が74地区にわかれており、77名の福祉委員が任期3年で活動を行っています。

大野地区スポーツ協会

大野地区は約5,000戸で構成されている地区です。大野地区スポーツ協会は、スポーツを通じて地区民の親睦と健康増進を目的として活動しています。

年間行事は、子どもランニング教室を初めとして、5月は分団対抗球技大会（ソフトバレーボール・ソフトボール・マレットゴルフ）、7月は分団対抗球技大会（バドミントン・綱引）、ラージボール教室（卓球）、9月はレクリエーション大会、10月はマレットゴルフスポーツ協会長杯、1月はスキー教室・スノボ教室を開催しています。また、大野市民スポーツ大会（大野市スポーツ協会主催）にも参加しています。

子どもから若い世代、高齢者までのコミュニケーション作りの場として活動中！

会長 松原直樹さん



子どもランニング教室



レクリエーション大会



分団対抗球技大会（バドミントン）

少子高齢化の中、大野市民の和気あいあいとした気質を失くさない様に貢献していきます。

大野地区子ども会育成会連絡協議会

本会は各町内の子ども会育成会相互の連絡協調により、子ども会及び育成会の健全な発展に寄与することを目的としています。

これまでも子どもたちが楽しめるイベントを数多く行ってきました。少子化や人口減少の社会ではありますが、子どもにとっての最善を第一に考え、地域の宝である子どもたちを大野地区全体で支えるまちづくりを目指して、地区住民の皆さんとの協働により活動を推進していきます。

少子化、地区の空洞化などにより大野地区内での編成を余儀なくされ、行事内容も年度見直しながらも活動を進めていくことが出来ました。これも一重に子どもを見守る方々のご協力あっての賜物と思います。今後も所々改善を行ない推進したいと考えます。

会長 松本育倫さん



めいりん塾



ジュニアリーダー活動(クリスマス会)



星空鑑賞会

夏休み中の居場所づくりや子どもたちの体験活動としてさまざまな事業を開催しています!

大野市赤十字奉仕団

私たちは、日頃から取り組んでいる炊き出し訓練や講習会、募金活動、献血事業推進などの活動、防災力の強化や市民の助け合い、支え合いになる地域共生社会の実現に貢献しています。

近年、自然災害などが多発し、市民の防災に対する意識が高くなり、各種団体などから防災教室の依頼が増えています。奉仕団では「講師派遣メニュー」を作成し、多くの人の自助力を高め、災害に強いまちづくりに寄与していきたいと思っております。

これからも時代の流れに沿った活動を進めてまいりたいと思っております。皆様には、ご理解、ご協力をお願い致します。

会長 前田 廣子さん



大野市防災キャンプ 炊き出し体験担当



高齢者サロン 風呂敷でリュック作り体験



夏季講習会 南越前町大雨災害時における赤十字の取り組みとAED講習

私たちは、知識、技術向上に努め、皆様のお役に立てるよう努めてまいります!

小中学校

児童福祉部会の中で、区長会や子ども会育成会、民生児童委員会等のご協力のもと、大野地区の子どもたちの健全な育成のために活動しています。夏季休業中に行われる「めいりん塾」、「大野地区敬老会」、「大野ほりでい」等のイベントに、「どうすれば児童生徒が積極的に携わるか?」とか「学校としてできることは何か?」を常に考えながら、より良い地域づくりに協力しています。

各種イベントに子どもたちが目的を持って参加できるように取り組んでいきます!

古川 勝さん



めいりん塾(プログラミング体験)

学びやレクリエーション、ワークショップなど様々なイベントを行っています!



大野ほりでい(SELF LOVE ワークショップ)



大野地区敬老会

大野市母子寡婦福祉連合会

昭和25年に「大野市未亡人会」として発足した歴史ある会です。長い歴史の中で、時代に合った活動の継続と、子どもやその親の福祉の向上を願い制度改革や支援事業等の要望を重ねてきました。会員相互の福祉増進と信頼関係の構築を図り、社会福祉の発展に寄与することを目的とし、「支え合い・助け合い」をモットーに、重要な役割だと週1回のひとり親家庭と寡婦の交流や子どもの学習支援・Xmas会、ケーキ作り、研修旅行、街頭募金などの活動を行っています。また、ひとり親家庭として就労や子育てにご苦労され、寡婦となられた先輩方が様々なところで、子どもや保護者のサポートをしています。

厳しい社会状況の中にも笑顔を絶やさず、ひとり親家庭の子と親、寡婦が交流を深め、ともに支え合い、助け合える会の存続を目指しています。

会長 西田 貴美子さん



歳末募金



さつま芋掘り



ケーキ作り

コロナ感染症蔓延時は、お弁当や食材、お米、生理用品等の配布、ひとり親家庭の子や保護者への支援をしました。

大野福祉施設連絡協議会

私たち「大野福祉施設連絡協議会」は施設相互の連絡調整をはかることを目的として9施設で組織しています。大野市福祉スポーツ大会や文化祭作品展示、共同募金活動への参加、施設職員対抗スポーツ交流会などの活動をしています。

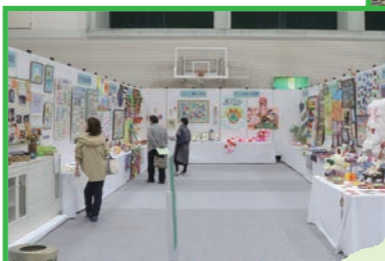
これからも福祉サービスの利用者だけでなく、地域に暮らす人びとの「生きる」を支えていきます。

地域のニーズに応える取り組みを実践しながら新たな福祉サービスをつくり出していきます。

会長 坪内 和夫さん



大野市総合文化祭



大野市総合文化祭

行政区が74地区にわかれており、77名の福祉委員が任期3年で活動を行っています。

大野市婦人福祉協議会

すべての女性の権利擁護、女性の福祉向上を願い昭和35年県下12の女性団体で創立された協議会です。60余年にわたり明るい家庭づくり、社会づくりを基本理念にボランティア精神を活動の原点におき地道な活動を重ねてきました。昭和42年より展開しています結婚相談活動は行政の支援もいただきながら少子化対策の重要な役割だと週1回の相談日には女性の悩み事相談、結婚相談を個別に当たっています。みんなで英知と協力で支え合って行けるよう「生涯現役」を目指し継続的活動を進めています。

生きるには「幸せ」と感じる心が大事です。差別や区別をなくし自分の人生を生きるように心がけたいと思っております。

会長 松田 信子さん



大野市婦人福祉協議会総会



奥越地区結婚相談員研修会



大野市婦人福祉協議会総会

「医療」「介護」「福祉」「子どもの貧困」「8050問題」等様々な社会問題に対して活動を行っています。



設立20周年記念式典



大野地区社会福祉協議会は、平成13年に設立し、令和3年に設立20周年の節目を迎えました。新型コロナウイルス感染症により、令和3年の記念式典の開催を見送り、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対策を講じた上で、令和4年10月15日(土)に開催しました。

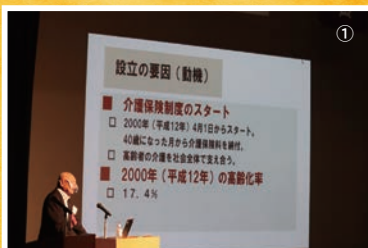
設立20周年記念事業には大野市長 石山志保様、大野市社会福祉協議会長 齊藤康文様、大野市議会大野会長 高田育昌様、大野地区区長会長 大谷誠治様が来賓としてご出席いただき、花を添えていただきました。

本会の発展及び地域福祉の向上に貢献された廣瀬守様と松田榮彦様に感謝状を贈呈し、敬意と感謝の意を表しました。

本会の20周年の歩みとして、会長 清水武正が本会設立にいたる時代背景やこれまでの活動内容の発表を行いました。

基調講演では、福井県立大学看護福祉学部 永井裕子様を講師にお招きして、「福祉はまちづくりーお互いに支えあう地域を創るー」をテーマに、ご講演いただきました。

その後、パネルディスカッションでは、大野地区区長会様や中部地区民生委員児童委員協議会様、大野地区福祉委員会様、大野高等学校JRC「結」様、奥越明成高等学校生徒会様をパネリストにお招きして、それぞれの活動報告や地域福祉について活発に意見交換を行いました。



① 20周年の歩みの報告



② 基調講演

(福井県立大学看護福祉学部 永井裕子様)

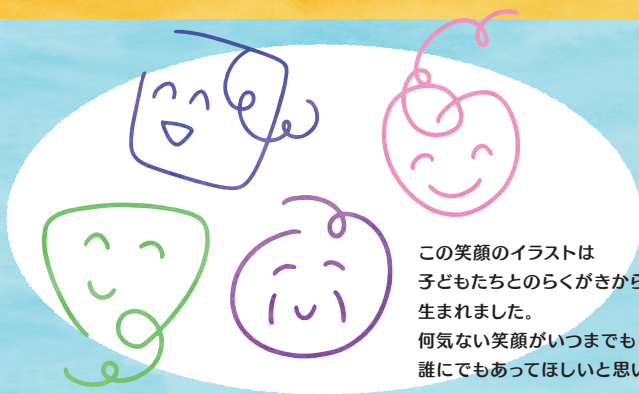
③ パネルディスカッション

(大野地区まちづくり推進協議会、中部地区民生委員児童委員協議会、大野地区福祉委員会、大野高等学校JRC「結」、奥越明成高等学校生徒会)



編集後記

今回、大野地区社会福祉協議会の20周年記念誌に携わる機会をいただき、各事業の活動内容、そして歩みを知ることができました。大野市に住む人々が、一人一人の思いやりを持って集まり、より良く、安心して、楽しい生活が送れるよう、様々な工夫と努力がなされていると感じます。こうした活動が、多くの方に知られ、同じ思いの参加者が増えていくことを願っています。



この笑顔のイラストは子どもたちとのららがきから生まれました。何気ない笑顔がいつまでも誰にでもあってほしいと思います。

発行

大野地区社会福祉協議会

編集 佐藤実紀代 (HOSHIDO)

大野地区社会福祉協議会 事務局 大野公民館

大野市城町9-1 学びの里「めいりん」内

0779-66-2828

令和6年2月発行